

遠隔監視・自動化等、「次世代型エネルギー管理」への対応も視野に入れて

改正省エネ法も見据えた**計測と見える化**の手法

～目的と手段とを適切に紐づけ、「デジタル」と「アナログ」の長所を最大限生かすために～

日時：令和 5年 10月20日 (金) 10:00～16:00

いわゆる「省エネ法：工場等判断基準[※]」では、エネルギー管理のための計測（及び記録）が求められています。その意図を「蓄積されたデータからエネルギー使用の現状を把握し、ムリ・ムラ・ムダがないか評価し改善（最適化）するため」と定義するならば、そのためのデータ把握が必要不可欠であることは明白です。

逆に言えば、省エネという「目的」の実現には、そのデータから改善活動のネタが抽出できるのか、当該データの分析等を通じ、今取り組んでいる改善活動を適切に評価できるかなど、「手段」としての計測の価値を少しでも高める意識が必要です。又50%の再エネは改正省エネ法では70%の評価になる動きもあります。

本講座では、斯様な視点——「**使える計測（及び記録）で現場を見える化!**」をキーワードに、省エネ推進に必要な変数、計測頻度と経済性、計測技術や計測点、そして集計・整理・分析の着眼点などを、「デジタル化」といった昨今のトレンド・事例も意識し、平明に解説します。

※正式名称：工場等におけるエネルギーの使用の合理化に関する事業者の判断の基準。「エネルギー管理のガイドライン」といえる。

カリキュラム

講師：(一財)省エネルギーセンター 省エネ技術本部マネージャー 鈴木 伸隆

- 計測に着目したエネルギー管理の基礎
 - ・「省エネのための計測」とは
 - ・計測及び記録の本来の姿
 - ・保守及び点検、新設・更新時の措置について 等
- 計測の要否の見極め方
 - ・設備機器の特性
 - ・生産等への影響
 - ・計測コストの考え方 等
- 省エネのための計測及び記録の技術
 - ・アナログデータのデジタル化技術
 - ・最新の計測技術
 - ・公知のデータ活用術 等
- 計測データの見える化事例
- 質疑応答

計測や記録方法、データ整理方法に関する課題解決（事前質問及びその場での質問に回答）



申込要領

<https://forms.gle/3tT9DAjf1MXrqBoEA>

- 受講条件：インターネット環境の整ったパソコンやタブレット等をご用意ください。
本講座はWeb会議・セミナーツール「Zoom」による配信になります。

- 受講料(消費税込)： 賛助会員 22,000円 一般 27,500円

賛助会員 ⇒ <https://www.eccj.or.jp/member/index.php>

※診断プロ倶楽部会員、CEMSAR登録審査員、省エネ・脱炭素エキスパート、エネルギー使用合理化専門員は賛助会員料金でご受講いただけます。

- 申込方法： 右上のURL又はQRコードをクリックいただき、申込みフォームよりお申込みください。
申込みフォームを利用できない場合は、会社名・所属部署名・氏名・〒所在地・電話番号・E-mail アドレスを下記メールへお申込みください。
- 注意事項： 10月13日（金）までにお申込みください。キャンセルは実施（前日起算）7日前までです。それ以降のキャンセルについては、理由の如何を問わず受講料は請求させていただきますので、代理の方の参加をご検討下さい。
10月13日（金）に資料等の郵送及びオンライン講座への招待メールの配信をいたします。
- お問合せ先： 一般財団法人省エネルギーセンター 東海支部 担当：相模
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-23-28 イトービル5F
TEL 052-232-2216 / FAX 052-232-2218 E-mail : tsym@eccj.or.jp

